

校長室だより

=自分でGO!自分がGO!そして共にGO! =



＜家庭数配付＞

令和6年9月17日

第5号

白井市立白井第一小学校

校長室

夏休みが明け、子どもたちが学校にもどってきて、2週間が経ちました。学校に戻ってきた子どもたちの表情がとてもよく、子どもたちなりにいい夏休みを過ごすことができたのではないかと感じました。

また、夏休み明けも、落ち着いて過ごし、学習をしています。夏休み明け、いいスタートがきれたと思っています。

行事の時こそ「共にGO!」



子どもたちは、学習の中や学級の中で、学び合いや教え合いを行い、「共にGO!」で取り組んでいる姿が、見られるようになってきました。

これから学校は、学校行事としては運動会や歌声発表会、学年行事としては、校外学習、6年生が修学旅行など、行事がたくさんあります。

行事の時こそ「共にGO!」です。

この夏休みに行われたパリオリンピックでは、日本は45個のメダルをとることができ、世界の中で活躍する姿にたくさんの感動をもらいました。その活躍したチームの中では、チームの中でよく対話を取り入れていたそうです。監督に指示されて動くのではなく、対話をして自分事として、課題をもち練習に取り組んでいたと聞きました。

本校の子どもたちも、行事に取り組む中で、先生に言われたことをただがんばってやるのではなく、どうやったらよりよくなるのか、自分で考え、伝え合って、自分たちの行事としてよりよいものを作り上げてほしいと伝えています。

困ったとき、つらいときには、SOSを！



最近、『SOSの出し方』と『受け止め方』が、重要視されています。

9/2（月）の全校朝会では「学校が始まって、学校のことやお家のこと、友達のことなどで、もやもやしていたり、困ったり、悩んでいることがあったら、周りの友達や先生に話をしてくださいね」と子どもたちに話しました。うまく伝えられなくてもいいし、どんな形でもいいですから、SOSを出してほしいと思います。

また、周りの大人も、それに気づいてキャッチしなければいけないと思っています。そのためには、普段をよく見て、変化に気づくことだと思います。

私たち教職員も、日頃から子どもたちをよく見て、少しの変化も共有していきたいと思っています。

一小的きらり

2年生の学童に入っている2年生の男の子3名が、放課後、校庭の草を刈った後に、自分たちから進んで草を集めてくれました。

数日後、放課後学校に遊んでいた4～6年生の男の子13名が、校庭の草を刈ったところで、「何か手伝うことはありませんか」と声をかけてくれ、草を熊手で集めてくれました。

すぐにそうやって声をかけてくれること、さっと気持ちよく手伝ってくれる行動がとても素敵です。これが白一小の良さだと思っています。ありがとう。



楽しい!と言って、どんどん草を集めてくれました



捨てやすいように袋にまとめてくれます。



気持ちよく手伝ってくれるのが素敵です。



子どもたちにも声をかけてくださり、ありがたいです。

夏休み明けの9月2日と3日は、登校時に白井自治会の皆さんが、本校の通学路6ヶ所に立って、見守りをしてくださいました。
地域の力を本当にありがたく感じます。

9月は、4月から学んできたことを振り返り、まとめる時期になります。学びをしっかり振り返り、その上で、また後期に向けて、新たな目標をもってほしいと思います。